



原田 一則 議員
(灘会)



一般質問

■観光推進について

観光客の受入れ体制の充実を！

質

①能登島地区の観光推進を図るために、観光客の受入れ体制の充実が必要である。地震発生から通行止めとなっている農道長崎17号線、18号線の交通に支障を来している雑木についての調査、伐採について、市の考えを伺う。

②旅行割商品の発行について、3月会議の答弁では、観光誘客には非常に有効な手段だが、宿泊施設の再開の状況が違うため、バランスを取って実施するのが課題とのことだった。この夏、秋に向け、市独自の制度設計を組み、宿泊施設を応援する必要があると考えるが、見解を伺う。

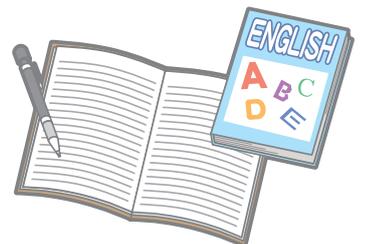
答

①交通に支障となる枝などの状況調査が必要と認識している。今後、調査を実施し、8月末の通行止め解除までに交通の支障となる枝などの伐採を行っていきたくと考えている。

②石川県で、能登観光の支援策として、(仮称)能登応援割の開始を検討していると聞いている。市独自の旅行支援の対策は、県の動向やツインブリッジのとの開通による効果、和倉温泉の復旧状況等を見極めた上で、効果的な旅行割商品を出していきたいと考えている。



木下 美也子 議員
(無会派)



一般質問

■学力向上の一方策として

英語検定受験料の補助制度を！

質

現在、全国各自治体で英語検定受験料の補助制度を導入している自治体がある。生徒が自らの英語力を把握し強化していくことで学力の向上に資するというのが補助制度導入自治体の趣旨となっている。七尾市の生徒の語学力の現状も踏まえて、同様の制度を導入する考えがないか伺う。

答

グローバル化が加速する中において、国際共通語である英語力の向上は極めて重要であり、市内4中学校においても英語検定受験を勧めているところである。七尾市の令和6年度における中学3年生の英語検定3級以上の取得率は30.2%であり、中能登教育事務所管内の市町平均と比較して4.3%下回っている。

英語検定は、英語能力の客観的な証明だけではなく、取得に向けて学習への意欲向上も期待されるため、受験料の補助制度は学力向上の一方策として有効であると考えており、今後の制度導入に向けた財源の確保に努めてまいりたいと考えている。